

点/100点

【問1】 次の各文の内容が正しい場合は「○」を、間違いの場合は「×」を答えなさい。 [各2計40]

- (1) 論理演算子!は「かつ」の演算を行います
- (2) 論理演算子は演算結果としてString型の値を返します
- (3) 条件演算子?:は2項演算子です
- (4) switch文は条件判断文ではありません
- (5) for文は後判定ループです
- (6) do while文は前判定ループです
- (7) for文の「初期化の式」は、最初に1度だけ実行されます
- (8) 後判定ループでは必ず1度は繰返し処理部が実行されます
- (9) break文を用いると実行中の繰返しから抜けることができます
- (10) 変数のスコープとはその変数を参照可能なコード上の領域です
- (11) 配列は同じ型の複数の変数を管理できます
- (12) 配列の配列要素はnew演算子を用いて確保します
- (13) 1次元配列の最初の配列要素の指定は添え字に0を書きます
- (14) 配列の添え字に1.5などの実数を指定することができます
- (15) 1次元配列の配列変数に.lengthをつけると配列要素数が得られます
- (16) 2次元配列の配列要素を指定するには2つの添え字が必要です
- (17) 配列変数は参照型変数の1つです
- (18) 基本型変数にはint型やdouble型があります
- (19) クラスのメンバーの数は0または1個です
- (20) クラスは異なる型の複数の変数を管理できます

■解答欄 1

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

【問2】 変数aを次のように宣言して、初期化しました。 [各2計10]

```
int a = 6;
```

次の各文を実行した後の変数bの値(trueまたはfalse)を答えなさい。

- (1) boolean b = !(a == 2);
- (2) boolean b = (a > 4) && (a < 8);
- (3) boolean b = (a < -2) || (a > 2);
- (4) boolean b = ((a > 0) && (a != 4)) || (a == 0);
- (5) boolean b = (a < 0) || ((a % 2 == 0) && (a % 3 == 0));

■解答欄 2

【問3】 次はfor文を用いたコードです。各コードをそれぞれ実行したとき画面出力される「*」の個数(0個以上)を答えなさい。 [各2計12]

- (1) for(int i=0; i<3; i++) System.out.print('*');
- (2) for(int i=1; i<4; i+=2) System.out.print('*');

- (3) for(int i=5; i>0; i--) System.out.print('*');
- (4) for(int i=0, j=0; i+j<4; i++, j++) System.out.print('*');
- (5) for(int i=0, j=i+3; i<j; i+=2, j+=1) System.out.print('*');
- (6) for(int i=0; i<2; i++)
for(int j=0; j<3; j++) System.out.print('*');

■解答欄 3

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

【問4】 配列に関する各設問に答えなさい。 [各2計12]

設問1 配列の初期化後、各コードを実行したときの画面出力を答えなさい。

```
int[] ary = {1, 3, 0, 2};
```

- (1) System.out.print(ary[1]);
- (2) System.out.print(ary[ary[2]]);
- (3) System.out.print(ary.length);

■解答欄 4 設問 1

1	2	3
---	---	---

設問2 次のように各配列を初期化した。下図に各配列要素の値とその枠を実線で示し、配列を図示しなさい。図中の行/列番号は添え字の数値です。

```
int[] ary1 = {1, 2};
```

配列 1	0 列目	1 列目	2 列目
0 行目			
1 行目			
2 行目			

■設問2の解答は直接図の中へお願いします

```
int[][] ary2 = {{1, 2, 3}, {4, 5, 6}};
```

配列 2	0 列目	1 列目	2 列目
0 行目			
1 行目			
2 行目			

```
int[][] ary3 = {{1, 2}, {3}, {4, 5, 6}};
```

配列 3	0 列目	1 列目	2 列目
0 行目			
1 行目			
2 行目			

【問5】 下のコード1において【★】の部分(1)~(4)のそれぞれに置き換えて実行したときの画面出力を選択肢から選びなさい。 [各2計8]

- (1) if(i==j)continue;
- (2) if(i>j)continue;
- (3) if(i*j==1)break;
- (4) if(i+j>2)break;

■コード 1

```
1: for(int i=0; i<3; i++){
2:   for(int j=0; j<3; j++){
3:     【★】
4:     System.out.print(j);
5:   }
6:   System.out.println();
7: }
```

■選択肢

- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| A) 012 | B) 12 | C) 012 | D) 012 |
| 0 | 02 | 12 | 01 |
| 012 | 01 | 2 | 0 |

■解答欄 5

1	2	3	4
---	---	---	---

【問6】 クラスTVを宣言し、そのオブジェクトを生成して使用するコード2と実行結果です。空欄を適切に埋めてコードを完成させなさい。 [各2計10]

■コード 2

```
1: class TV{
2:   int (1);
3:   (2) maker;
4: }
5: class Final6{
6:   public static void main(String[] args){
7:     TV (3) = new (4)();
8:     mytv.price = 150000;
9:     mytv.(5) = "シャープ";
10:    System.out.print(mytv.maker+"製("+mytv.price+"円)");
11:  }
12: }
```

■コード 2 の実行結果

シャープ製(150000円)

■解答欄 6

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

【問7】 下は乗馬体験のコース代金を案内するコードです。実行例となるようにswitch文を用いてコードを完成させなさい。ただし、選択肢は大文字でも小文字でも対応できるようにすること。 [8]

■コード 3

```
import java.io.*;
class Final7{
  public static void main(String[] args) throws IOException{
    BufferedReader br;
    br=new BufferedReader(new InputStreamReader(System.in));
    System.out.println("★乗馬体験コースを記号でお選びください★");
    System.out.println("(B)引き馬 (H)ハーフライド (T)トレイルライド");
    char c = br.readLine().charAt(0);
```

■解答欄 7

ゆっくり綺麗に書きましょ

■実行例 1

★乗馬体験コースを記号でお選びください★
 (B)引き馬 (H)ハーフライド (T)トレイルライド
 h
 ハーフライドコースは5,500円です

■実行例 2

★乗馬体験コースを記号でお選びください★
 (B)引き馬 (H)ハーフライド (T)トレイルライド
 a
 入力できる記号は B, H, T です

授業評価アンケートのお願い

授業改善のため、みなさんのご意見を是非お聞かせください。
 場所: myFIT(スマホOK)
 期限: 7月21日(火)
 ★裏面の独自アンケートにもお手数ですが、ご記入お願いします!!

「お疲れ様でした!!」